



ふるさと笠松の「ちょっといい話」118号



「トンボ天国クリーン大作戦は大成功！」

7月17日(日)の早朝8時に、約200名の人々がトンボ天国に集まってくださいました。集まった方は国土交通省、町職員、トンボ池を守る会、下羽栗地区町内会、道徳のまち笠松の関係者をはじめ、下羽栗小PTA、地元企業、一般ボランティアなどの方々です。

トンボ天国周辺の竹や雑草を伐採し、不法に投棄された粗大ゴミなどを回収する整美活動は、今年で5回目です。集まった方々は、エンジン付き草刈り機やのこぎり、ナタ、剪定ばさみなどの道具を持参し、作業を開始しました。曇天でしたが、少し活動すると汗が噴き出します。気温が高いので竹や雑草は背丈以上に伸びています。それらを伐採するために、9時までの1時間、休息もとら

町長さんを始め多数の参加者と 開会の式を行いました。

ないで頑張ってくださいました。おかげで、トンボ天国の周辺は見違えるようにきれいになりました。背の高い竹や雑草がなくなったことで、下草が育つ環境になり、表土が池に流れ込むこともなくなると思われます。きっと、ヤゴたちには池が土で濁らないのでよい環境が整ったことでしょう。たくさんのトンボたちが飛びかうようになることを願っています。ご協力くださった皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

なお、トンボ天国周辺の竹や雑草等の伐採活動は来年も続けたいと思っています。是非、たくさんの方々のご参加をお待ちいたします。また、この活動に対し昨年、国土交通省より木曽川の環境保全に貢献しているとのことで感謝状をいただきました



大勢の力で竹がこんなに伐採できました。



作業後の「ねぎらいの会」に集まった皆さん

☆ このクリーン作戦の素晴らしいところは、各個人が必要な道具を持参し、自主的に活動していることです。

トンボ天国の環境整備活動は、国と町と地域住民が合同で取り組んでいる素晴らしい活動です。来年も多数のボランティアの方をお待ちしています。



大勢の力で見違えるようにきれいになりました。



力を入れて、汗びっしょりで伐採しています。



30分もすると伐採した竹が山と積まれます。



多くの人の力で葛(くず)も刈り取られていきます。



暑い中の作業でしたが、トンボ天国はきれいになりました。



9時になって伐採作業が終了しホッとする皆さん